

様式2(指定管理者施設)

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成21年度事業分)

1. 施設の概要

施設名	男女共同参画推進センター(富士)	所管課	県民生活・男女参画課
所在地	都留市中央3-9-3	設置年月日 (改築年月日等)	平成2年12月25日
管理方式	指定管理者((財)やまなし文化学習協会、平成21年4月1日～)		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立男女共同参画推進センター設置及び管理条例		
設置目的	県民に男女共同参画に関する学習の機会と交流の場を提供し、もって男女共同参画の推進に資するため、男女共同参画推進センターを設置する。		
主な施設内容 (定員等)	託児室(45㎡)、交流コーナー(56㎡)、団体連絡室(50人)、視聴覚・音楽室(70人)、工芸・美術室(40人)、調理実習室(40人)、茶・華道室(40人)、レクレーション室(140㎡)、大研修室(250人)、小研修室(45人)		
主な業務内容	(指定管理者が行う業務を記入する。) (1) 県民に男女共同参画に関する学習の機会と交流の場を提供するための事業の実施。 (2) 地域の住民に対する地域活動の場の提供。		

2. 類似施設・近隣施設

名称・施設内容・ 利用状況等	(1) 男女共同参画推進センター: 利用者数102,183人(総合)、13,901人(峡南) (2) 都留市ウグイスホール (3) 都留市民会館
-------------------	--

3. 利用状況

単位: 人、%

		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度 (目標値)
利用者数	貸館利用者	37,980	35,417	40,553	
	事業参加者	8,208	9,121	7,062	
	利用者数合計	46,188	44,538	47,615	
	目標値			46,800	49,100
	目標値設定の考え方			前年度実績の5%増を目標とする。	前年度実績の3%増を目標とする。
	対19年度比	100.0%	96.4%	103.1%	106.3%
稼働率					

## 4. 収支状況

単位:円、%

		平成20年度	平成21年度 (計画値)	平成21年度 (実績値)	平成22年度 (計画値)
収入	施設利用料	2,442,860	2,555,000	2,925,880	2,477,000
	指定管理者委託料		37,826,000	37,825,620	38,043,000
	その他	3,385,817	1,259,000	1,087,802	956,000
	収入合計(A)	5,828,677	41,640,000	41,839,302	41,476,000
支出	人件費	24,706,250	24,306,000	21,743,494	20,598,000
	県への納付金				
	管理運営費	14,827,065	16,865,000	18,876,791	18,055,000
	(うち外部委託費)(B)	3,453,400	4,313,000	5,398,530	4,721,000
	支出合計(C)	39,533,315	41,171,000	40,620,285	38,653,000
収支差額(A-C)		-33,704,638	469,000	1,219,017	2,823,000
外部委託比率(B÷C)		8.7%	10.5%	13.3%	12.2%
利用者一人当りの経費		756	808	794	775

## 5. 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成21年4月~22年3月、実施方法:事業参加者・貸館利用者へのアンケート、回答数 管理運営:1,023人 企画事業:1,105人
-------	--

単位:%

調査項目	満足・十分	普通・ どちらでもない	不満足・ 不十分	不明・ わからない
①施設・設備の充実	68.8%	21.2%	5.4%	4.6%
②施設・設備の整備	77.7%	17.0%	3.3%	2.0%
③サービス	67.3%	27.5%	1.7%	3.5%
④施設全体	56.3%	40.9%	1.3%	1.5%
⑤事業	86.0%	13.6%	0.4%	0.0%
各項目の平均	71.2%	24.1%	2.4%	2.3%

利用者の意見	・貸室料を無料にしてほしい。
利用者の意見への対応	

## 6. 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	法令、業務仕様書等に基づき、適正に業務を執行した。	業務仕様書、業務計画書どおり適正に実施されている。
運営業務	条例及び協定に基づき適正に業務を執行した。	事業報告書及び現地確認の結果、適正に実施されている。 今後も創意工夫を凝らし、入館者の増加やサービスの向上のために努力されたい。
自主事業	提案及び協定等に基づき適正に業務を執行した。	計画どおり適正に実施されている。
利用状況	利用者数については、開館日の増加、ポイントカードの導入等により大幅に増加した。	利用者増加が図られるようPR活動に努めること。
収支状況	光熱水費、燃料費については、経費の節減に努めた。	必要な修繕を行うなかで経費節減に努めていることは評価できる。
利用者満足度	利用者の満足度は、平均7割以上が満足ということであった。今後も利用者のアンケートをもとに、施設の適切な管理・運営に努めたい。	利用者アンケートの結果は月毎に報告された。県民ニーズの把握に努め、管理運営に反映させるよう指導した。運営上の工夫で解決可能な利用者意見については速やかな対応がなされた。
運営目標の達成状況	平成21年度の総利用者数(47,615人)は目標総利用者数(46,800人)を上回っており、目標を達成している。 貸館利用者は増えているが、事業参加者数(講座等の館内事業及び出前事業)が減少していることから、事業内容を工夫するなどの検討を行い、参加者数の増加を図る必要がある。	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	運営業務・施設管理・各種事業等について、基本協定・提案等に基づき概ね適正に履行された。経費節減に努めるとともに、県民ニーズの把握にも努め、利用者サービスの向上に努力している。平成22年度は一層の利用者増加に取組み、県民へのサービス向上に努めること。	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	平成21年度同様に利用者増加に取組み、サービスの向上に努める。	